

# 2025年3月期 決算説明資料

2025年5月9日  
ステラケミファ株式会社  
(証券コード：4109)

# 目次

## 【決算説明資料】

---

- ・業績ハイライト P. 3
- ・決算概要 P. 4 – 13
- ・業績予想 P. 14 – 16
- ・株主還元 P. 17 – 18

## 【参考資料（会社概要・事業紹介）】

---

- ・会社概要 P. 20
- ・主要子会社および関連会社 P. 21
- ・事業紹介 P. 22 – 38

# 業績ハイライト

## 【2025年3月期実績（前期比）】

- ◆ 半導体部門は、一部の市況回復により出荷量が増加
- ◆ エネルギー部門は、濃縮ホウ素（ボロン10）の海外向け出荷により前期と比較して増加
- ◆ 主要原材料である無水フッ化水素酸の国内調達価格は、市況価格上昇および円安進行により上昇

## 【2026年3月期見通し】

- ◆ 半導体部門の売上高は、微増想定
  - ◆ エネルギー部門は、海外の新規原子力施設の計画に基づき、販売減少を想定
  - ◆ 主要原材料である無水フッ化水素酸の国内調達価格は、2025年3月期よりもさらに上昇を想定
  - ◆ 米政権の関税政策による事業への影響について、関税措置の動向が不透明なことに加え、サプライチェーン全体への影響の把握が困難であることから、業績予想への織り込みはなし
- ※ 米国への直接的な販売は限定的

# 決算概要

(単位：百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率(%)
売上高	30,446	36,288	5,842	19.2
売上総利益	6,446	8,257	1,811	28.1
営業利益	2,722	4,338	1,616	59.4
経常利益	3,064	4,161	1,097	35.8
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,845	2,892	1,046	56.7
1株当たり 当期純利益(円)	153.48	241.00	87.52	
配当金額(円)	154	170	16	
ROE(%)	4.2	6.5	2.3	

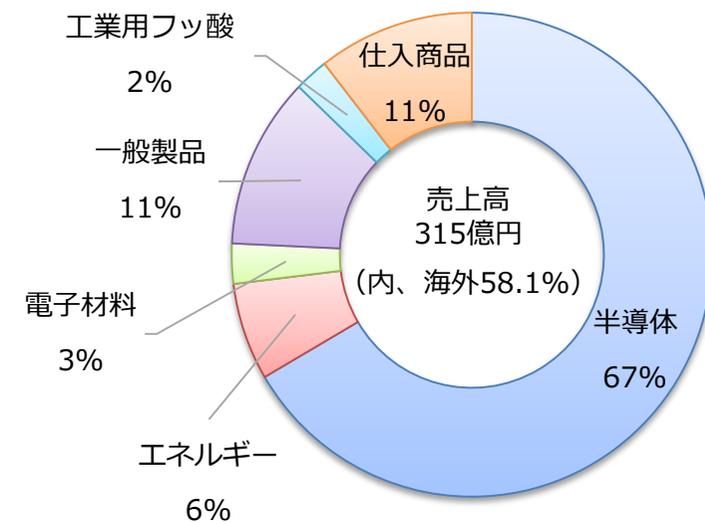
# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2024年3月期	2025年3月期	増減		2024年3月期	2025年3月期	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	26,019	31,535	5,516	21.2	2,167	3,546	1,378	63.6
運輸	4,252	4,636	384	9.0	548	794	245	44.8
その他	174	116	△57	△33.2	18	18	△0	△2.6
消去又は 全社	-	-	-	-	△13	△20	△6	-
合計	30,446	36,288	5,842	19.2	2,722	4,338	1,616	59.4

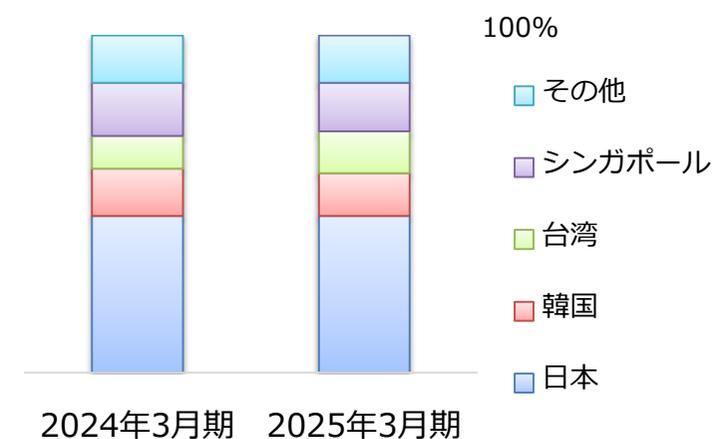
# 高純度薬品事業 売上高（内訳）

（単位：百万円）	2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率（%）
半導体	18,341	20,992	2,651	14.5
エネルギー	1,152	2,051	899	78.1
電子材料	592	843	250	42.3
一般製品	2,060	3,613	1,552	75.4
工業用フッ酸	696	718	21	3.2
仕入商品	3,177	3,317	140	4.4
合計	26,019	31,535	5,516	21.2

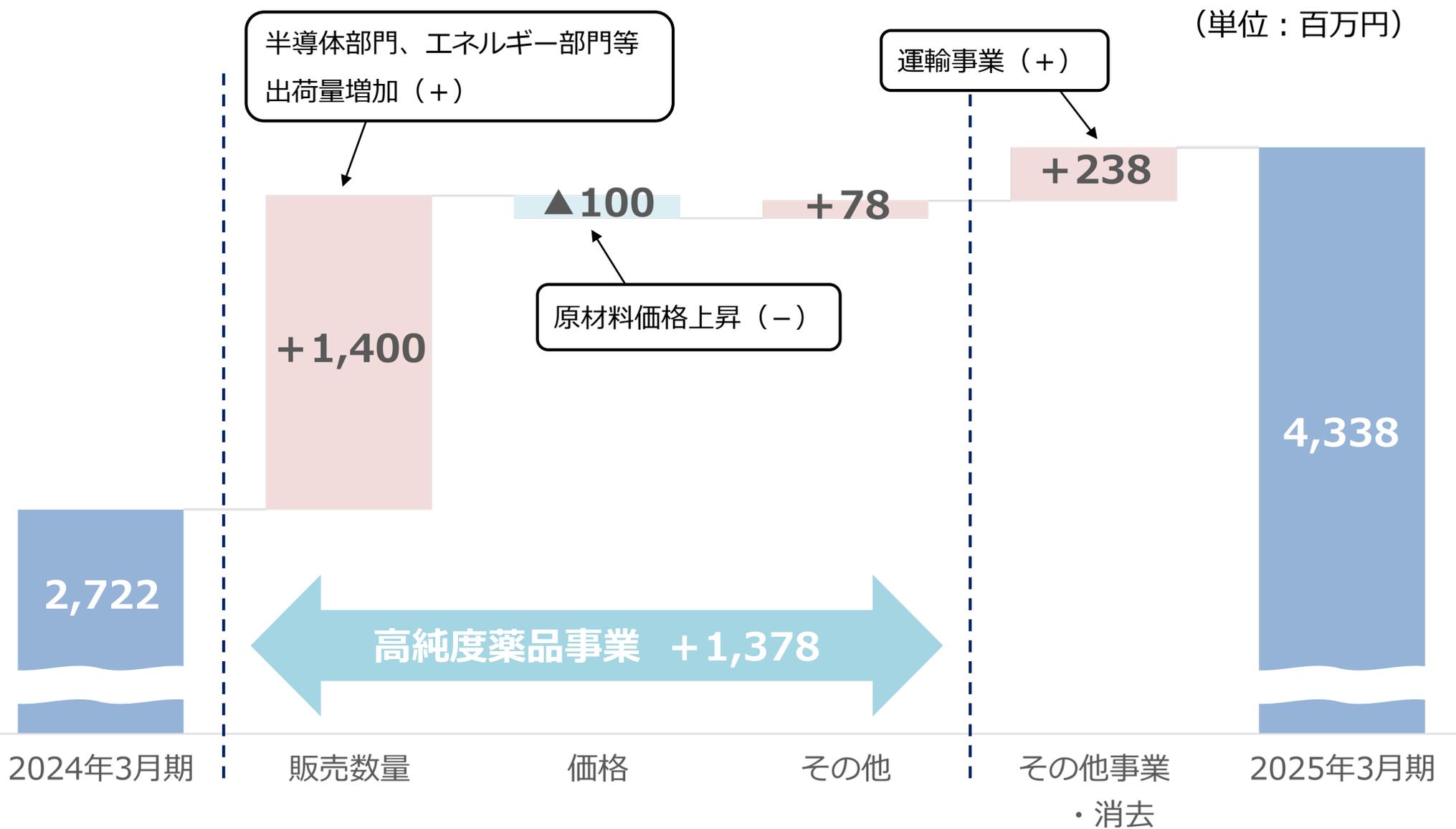
2025年3月期 売上高構成比



半導体 国別出荷割合

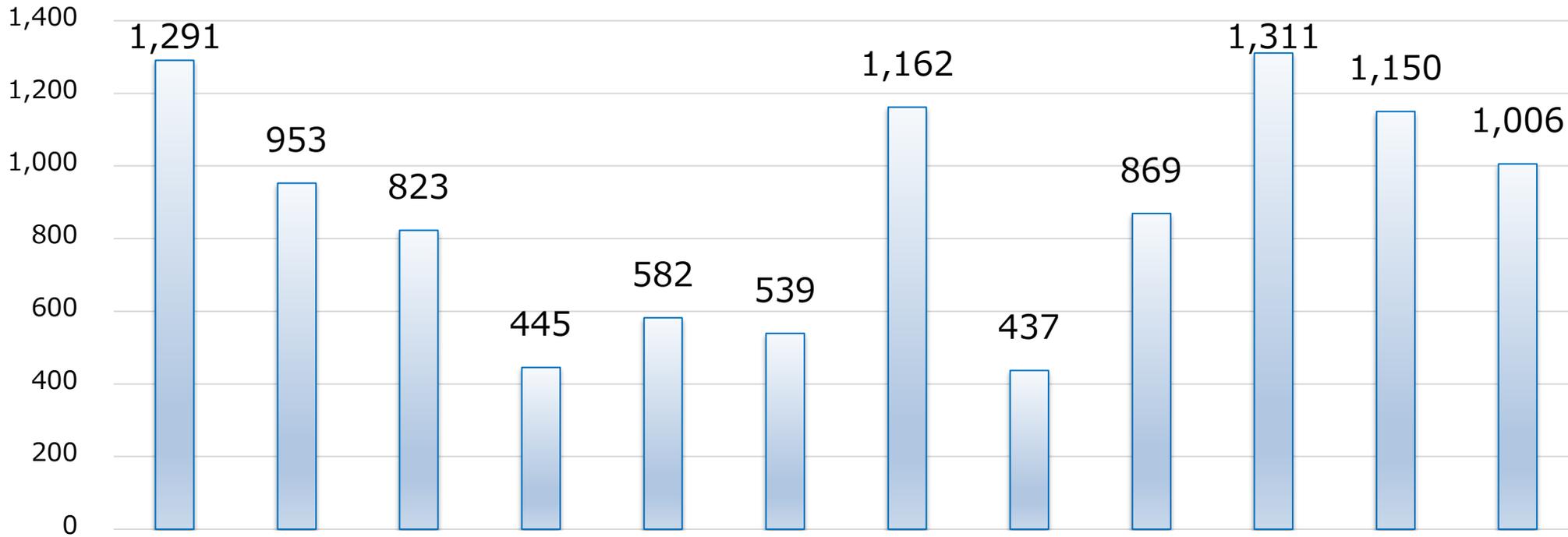


# 営業利益増減分析（前期比）



# 営業利益推移

(単位：百万円)

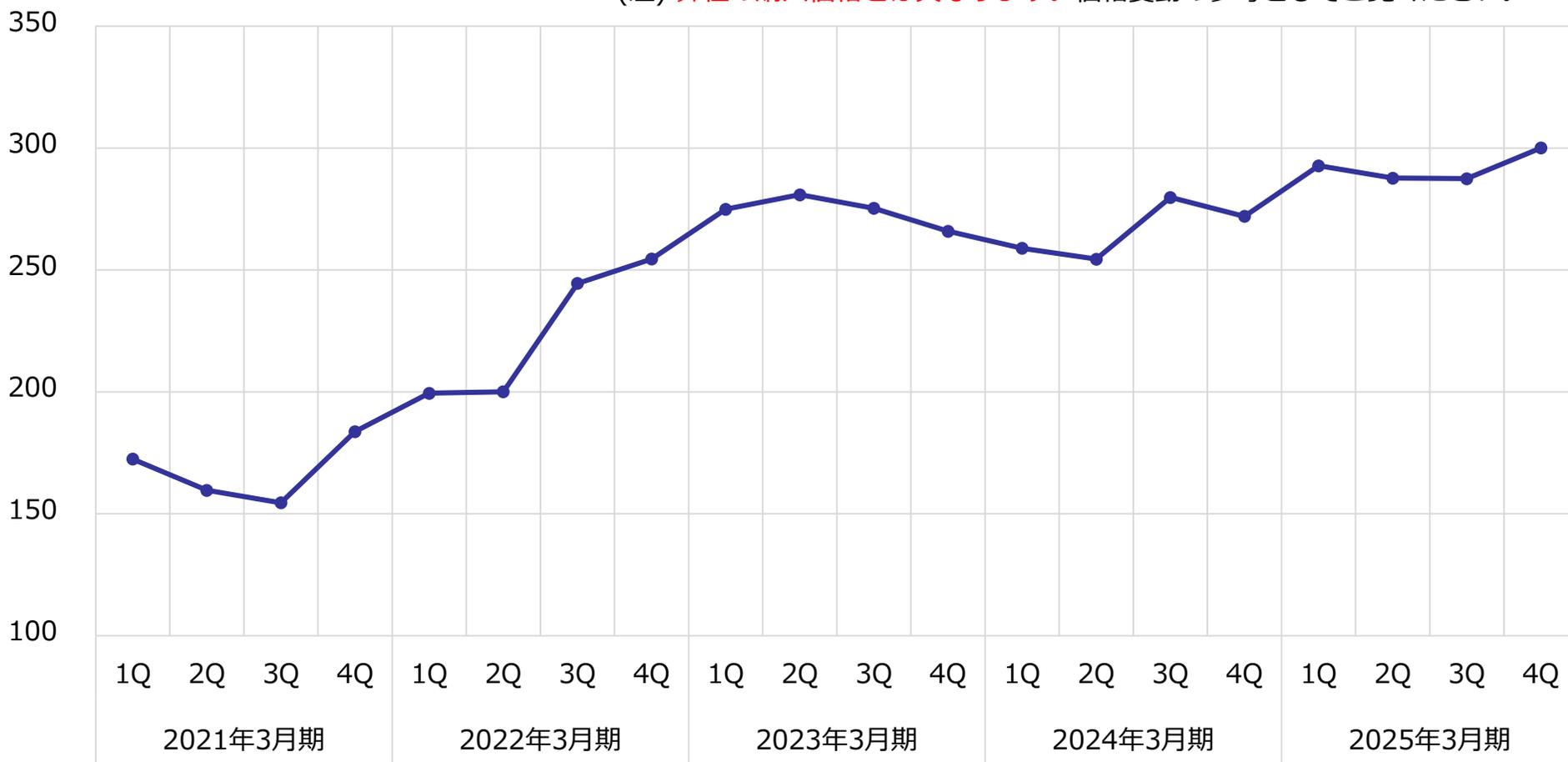


	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,764	9,854	8,651	7,112	7,298	7,199	8,813	7,134	8,755	9,405	8,491	9,636
営業利益	1,291	953	823	445	582	539	1,162	437	869	1,311	1,150	1,006
営業利益率	13.2%	9.7%	9.5%	6.3%	8.0%	7.5%	13.2%	6.1%	9.9%	13.9%	13.6%	10.4%

# フッ化水素酸「輸入貿易統計価格（中国）」推移

(円/kg)

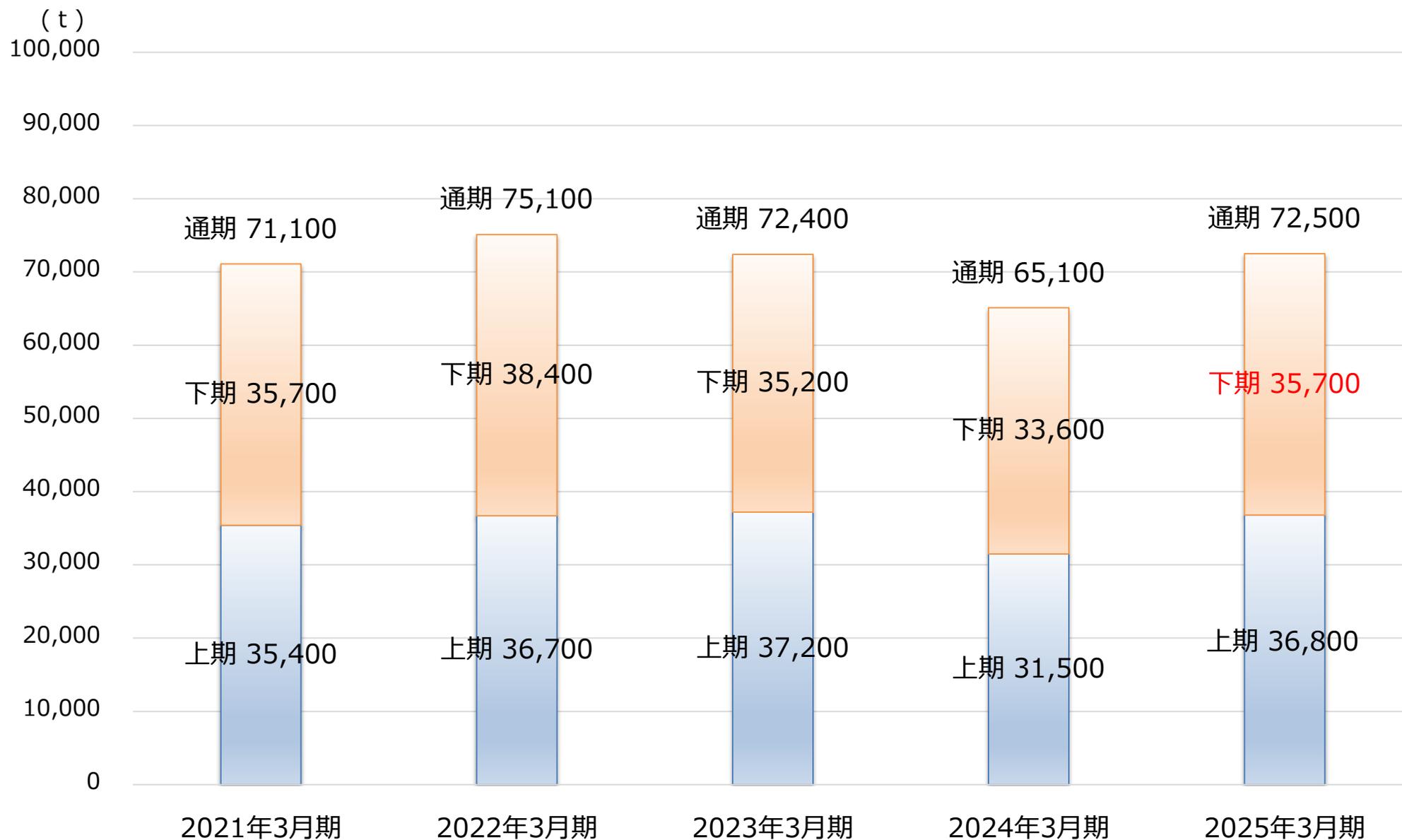
(注) 弊社の購入価格とは異なります。価格変動の参考としてご覧ください。



(単位：円/kg)	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
平均価格	168	225	274	266	292

出所：財務省「財務省 貿易統計」(<http://www.customs.go.jp/toukei/info/>)より弊社作成

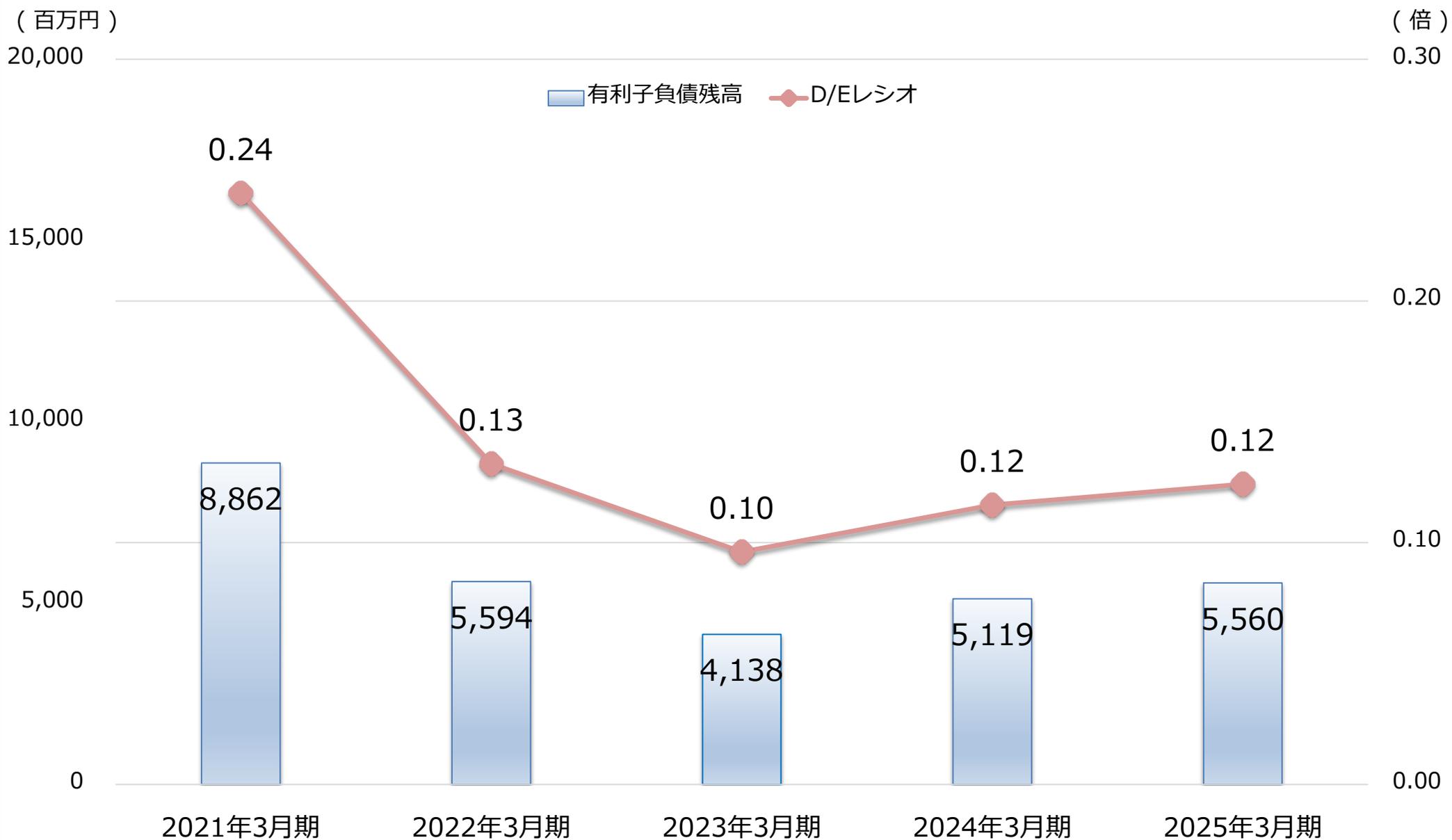
# 高純度フッ化水素酸（半導体）出荷量推移



# 貸借対照表

(単位：百万円)	2024年3月期 期末	2025年3月期 期末	増減	増減率(%)
<b>資産</b>	<b>58,618</b>	<b>60,725</b>	<b>2,107</b>	<b>3.6</b>
現預金	16,225	16,643	418	2.6
営業債権	6,801	7,122	321	4.7
棚卸資産	5,476	5,618	141	2.6
有形固定資産	25,426	26,658	1,231	4.8
無形固定資産	149	42	△107	△71.6
<b>負債</b>	<b>14,116</b>	<b>15,732</b>	<b>1,615</b>	<b>11.4</b>
営業債務	3,093	4,013	920	29.8
有利子負債	5,119	5,560	441	8.6
<b>純資産</b>	<b>44,501</b>	<b>44,992</b>	<b>491</b>	<b>1.1</b>
自己資本	44,261	44,752	490	1.1
<b>負債純資産</b>	<b>58,618</b>	<b>60,725</b>	<b>2,107</b>	<b>3.6</b>

# 有利子負債とD/Eレシオ



# キャッシュ・フロー計算書

## 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

### (1) キャッシュ・フロー計算書

	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,542	7,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,831	△4,324
フリーキャッシュ・フロー (営業CF + 投資CF)	710	2,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141	△2,828
現金及び現金同等物の増減額 (△：減少)	1,118	356
現金及び現金同等物の期首残高	14,728	15,846
現金及び現金同等物の期末残高	15,846	16,203

### (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

	2024年3月期	2025年3月期
設備投資額	5,708	3,924
減価償却費	2,768	2,812
研究開発費	698	597

# 業績予想

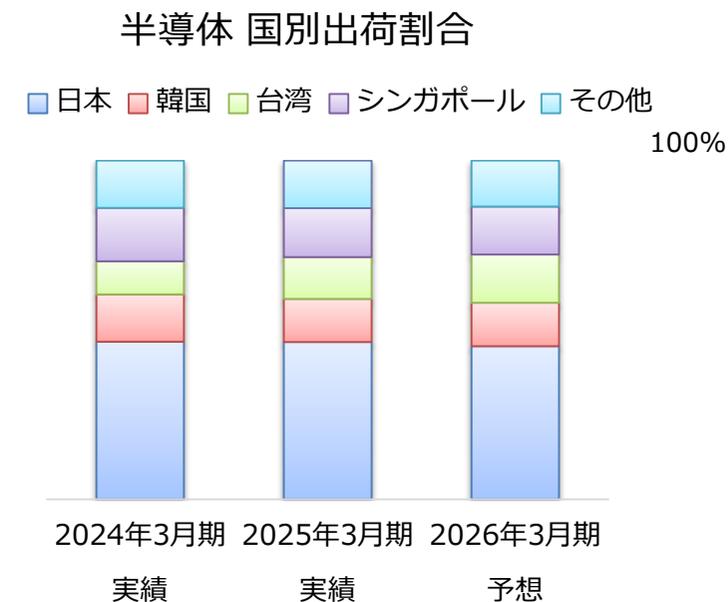
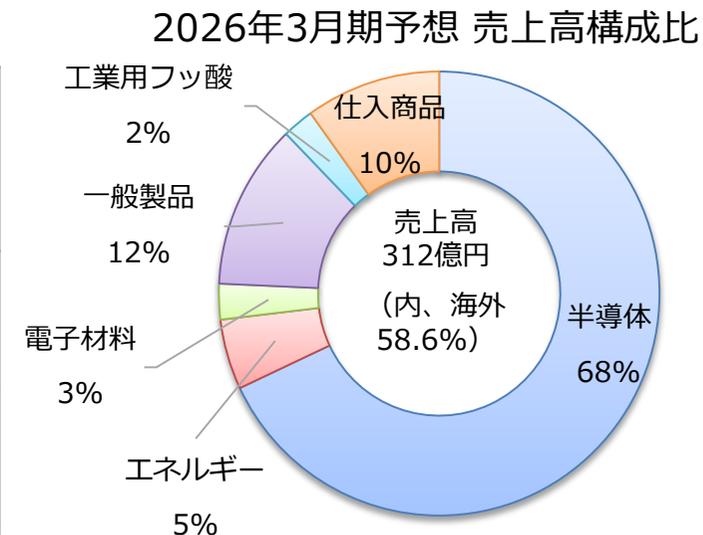
(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率(%)
売上高	36,288	36,000	△288	△0.8
営業利益	4,338	4,100	△238	△5.5
経常利益	4,161	3,900	△261	△6.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,892	2,700	△192	△6.7
1株当たり 当期純利益 (円)	241.00	228.76	△12.24	
配当金額 (円)	170	170	—	
ROE (%)	6.5	6.1	△0.4	
設備投資額	3,924	7,600	3,675	93.6
減価償却費	2,812	2,850	37	1.3
研究開発費	597	750	152	25.5

# セグメント別 売上高・営業利益予想

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減		2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	31,535	31,250	△285	△0.9	3,546	3,390	△156	△4.4
運輸	4,636	4,600	△36	△0.8	794	720	△74	△9.4
その他	116	150	33	28.9	18	10	△8	△45.0
消去又は 全社	—	—	—	—	△20	△20	0	—
合計	36,288	36,000	△288	△0.8	4,338	4,100	△238	△5.5

# 高純度薬品事業 売上高予想（内訳）

(単位：百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減 (26/3予想- 25/3実績)	増減率 (%)
半導体	18,341	20,992	21,250	257	1.2
エネルギー	1,152	2,051	1,600	△451	△22.0
電子材料	592	843	810	△33	△4.0
一般製品	2,060	3,613	3,770	156	4.3
工業用フッ酸	696	718	720	1	0.3
仕入商品	3,177	3,317	3,100	△217	△6.6
合計	26,019	31,535	31,250	△285	△0.9



# 株主還元

## 【2026年3月期～2028年3月期における株主還元方針】

総還元性向	3年間累計で総還元性向(注1)100%以上を目標とする(注2)
配当金	1株当たり年間170円を下限とする

(注1) 2026年3月期～2028年3月期における株主還元の合計額を、同期間における親会社株主に帰属する当期純利益の合計額で除した比率

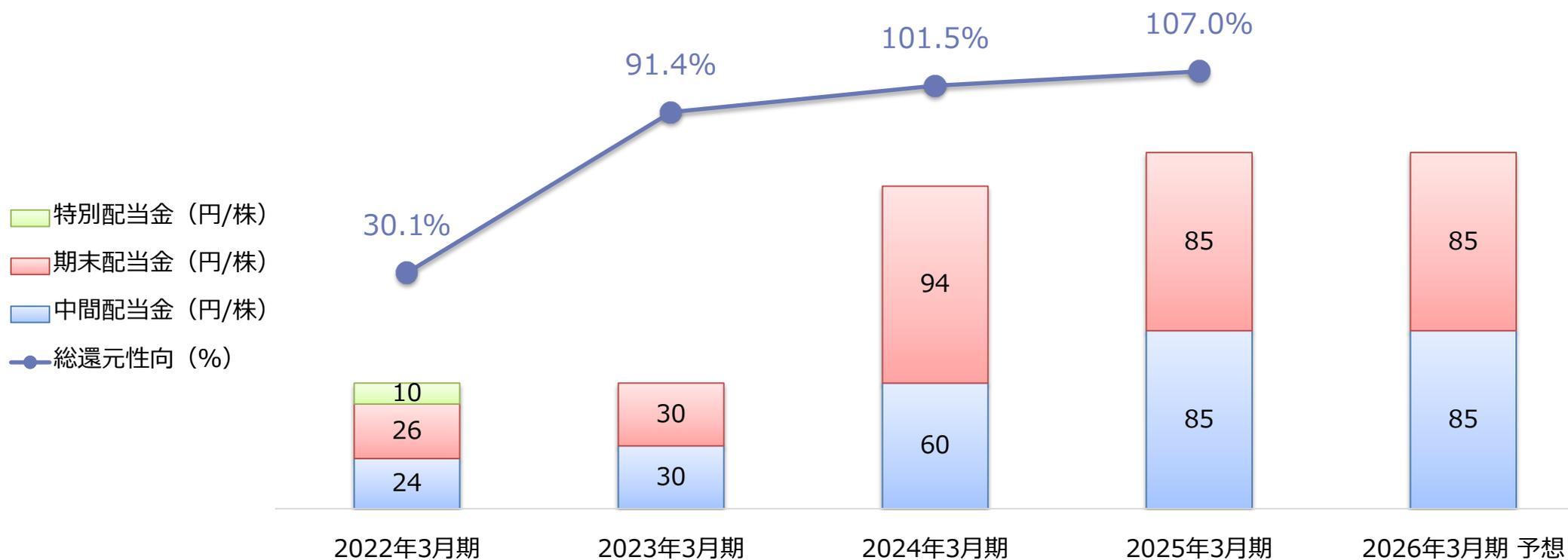
(注2) ただし、特別な損益等の特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度につきましては、その影響を考慮して、株主還元額を決定いたします

# 株主還元

## 【配当実績および予想】

◆ 2025年3月期 ● 年間配当 170円/株

◆ 2026年3月期 ● 年間配当予想 170円/株 (2025年5月9日公表)



# 参考資料

(会社概要・事業紹介)

# 会社概要

(2025年3月31日 現在)

商号	ステラケミファ株式会社 (STELLA CHEMIFA CORPORATION)
所在地	大阪府大阪市中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル10階
創業/設立	1916 (大正5) 年2月 / 1944 (昭和19) 年2月
資本金	48億2,978万2,512円
代表者	代表取締役社長 橋本 亜希 代表取締役専務 (生産統括) 坂 喜代憲
URL	<a href="https://www.stella-chemifa.co.jp/">https://www.stella-chemifa.co.jp/</a> 
従業員数	294名
営業部拠点	大阪営業部 (大阪府大阪市中央区) 東京営業部 (東京都千代田区)
生産拠点	三宝工場 (大阪府堺市堺区) 泉工場 (大阪府泉大津市) 北九州工場 (福岡県北九州市八幡西区)
研究開発拠点	次世代材料研究棟 (大阪府堺市堺区：三宝工場敷地内)

# 主要子会社および関連会社

## 国内（3社）

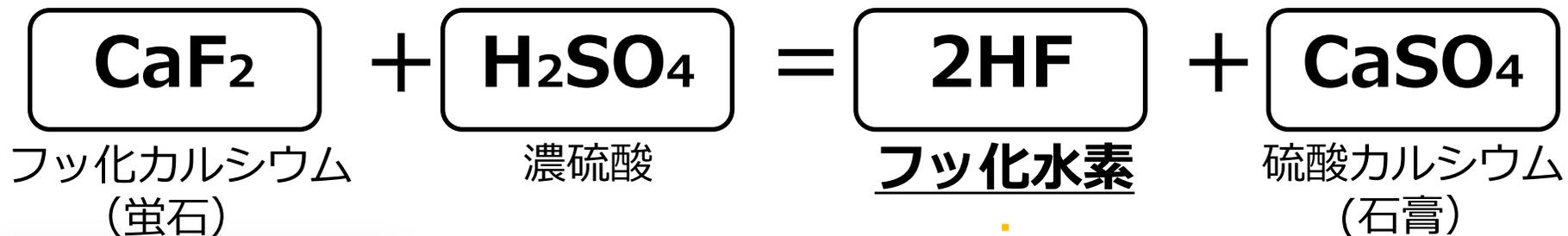
運輸事業	ブルーエクスプレス株式会社	大阪府 堺市 堺区
その他事業	ブルーオートトラスト株式会社	大阪府 堺市 堺区
メディカル事業	ステラファーマ株式会社	大阪府 大阪市 中央区

## 海外（6社）

高純度薬品事業	STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD	シンガポール
運輸事業	STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD	シンガポール
高純度薬品事業	星青国際貿易（上海）有限公司	中国
運輸事業	青星国際貨物運輸代理（上海）有限公司	中国
高純度薬品事業	浙江瑞星フッ化工業有限公司	中国
高純度薬品事業	衢州北斗星化学新材料有限公司	中国

# 事業紹介

## フッ化水素の製造とその用途



※蛍石は大きく5つの純度グレードに分けられており半導体用途には97%以上の純度を持つ高品位な蛍石が求められる。

↓  
コンクリート材料等

弊社の独自技術による反応・精製

ステンレスなどの表面処理

代替フロン等の原料

半導体用エッチング・洗浄用薬液

各種二次電池の材料

原子力・医療用途向け濃縮ホウ素

反応触媒  
オーラルケア製品など

# 事業紹介

## 高純度薬品事業

半 導 体	・半導体や液晶パネルの製造工程におけるエッチング・洗浄用薬液の製造・販売
エ ネ ル ギ ー	・原子力関連施設やがん治療（BNCT）で使われる濃縮ホウ素（ボロン10）の製造・販売 ・各種二次電池の性能を向上させる材料の開発
電 子 材 料	・タンタルコンデンサーで使われるタンタル製造助剤の製造・販売 ・カメラ・ステッパー用レンズ原料などの製造・販売 ・少量生産段階の研究開発品の製造・販売 ・LEDに使われる蛍光体製造用原料や蛍光体の製造・販売
一 般 製 品	・様々な化学品や医薬品の中間体製造で使用する触媒の製造・販売 ・虫歯や歯肉炎の予防効果を持たせるための歯磨き用添加剤の製造・販売 ・その他のフッ素化合物の製造・販売
工 業 用 フ ッ 酸	・ステンレスの酸洗浄や液晶パネルの薄化などに使用されるフッ酸の製造・販売
仕 入 商 品	・仕入商品の販売

# 事業紹介 ~半導体~

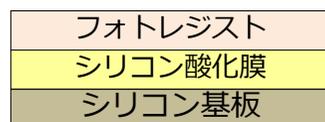
## 超高純度化技術

- 超精製技術・超清浄技術により、不純物レベルを1ppt（1兆分の1）以下にコントロール
- 超高集積回路に対応できる超高純度薬液を量産化

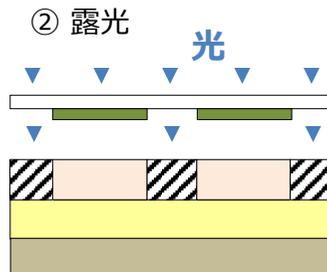
超高純度フッ化水素酸	<ul style="list-style-type: none"><li>• フッ化水素酸(HF)は、シリコン酸化膜をエッチング除去できる唯一の薬液</li><li>• 半導体製造プロセスには不可欠で超高純度が要求される薬液</li><li>• 特に希フッ酸は、数多くの半導体プロセスで使用</li></ul>
超高純度バッファードフッ酸	<ul style="list-style-type: none"><li>• フッ化水素酸 (HF) とフッ化アンモニウム (<math>\text{NH}_4\text{F}</math>) の混合水溶液</li><li>• 主に絶縁膜のエッチングや洗浄等の工程で使用</li><li>• 十数 <math>\text{\AA}/\text{min}</math> から数千 <math>\text{\AA}/\text{min}</math> の広範囲なエッチレートを持つ薬液が製造可能</li></ul>

## 使用例 (フォトリソグラフィ工程)

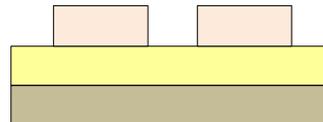
- ① シリコンウエハに  
フォトレジスト塗布  
(加熱乾燥)



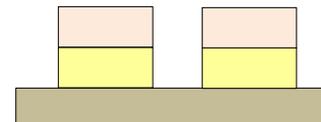
- ② 露光



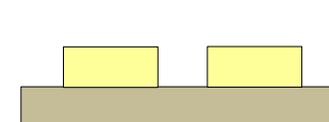
- ③ 現像



- ④ エッチング  
(フッ酸系薬液でシリコン  
酸化膜を溶かす)



- ⑤ フォトレジスト剥離



# 事業紹介 ~半導体~

## 当社製品純度

SA

製品グレード

【製品純度】

9 N (99.9999999%)

【不純物濃度】

1 ppt (0.0000001%)以下  
※10億分の1

製品グレード

SA-X

【製品純度】

10N (99.9999999%)

【不純物濃度】

0.1ppb (0.0000001%)以下  
※100億分の1

製品グレード

SA-XX

【製品純度】

11N (99.9999999%)

【不純物濃度】

0.01ppb (0.00000001%)以下  
※1000億分の1

製品グレード

SA-XXX

【製品純度】

12N (99.99999999%)

【不純物濃度】

1 ppt (0.000000001%)以下  
※1兆分の1

世界最高レベルの高純度品へ



# 事業紹介 ～半導体～

## 当社製品例

製品名 (半導体関連)	説明
超高純度フッ化水素酸	主に半導体の製造における シリコンウェハのウェットエッチングおよびウェット洗浄に使用される薬液
超高純度バッファードフッ酸	超高純度フッ化水素酸とフッ化アンモニウム溶液の混合水溶液
BHF (バッファードフッ酸)	50%フッ化水素酸と40%フッ化アンモニウム水溶液を任意の配合比で混合した薬液
LL BHF	BHF (バッファードフッ酸) に界面活性剤を添加し、様々な機能性を有した薬液
LAL BHF	フッ化アンモニウム濃度を通常の約半分の17～20%と最適化し、長寿命化などのメリットを実現した界面活性剤入りのBHF (バッファードフッ酸)
Ex-LAL BHF	フッ化アンモニウム濃度を5%以下まで低減し、装置での結晶析出を抑制した界面活性剤入りBHF(バッファードフッ酸)
HSN BHF	LAL BHFと同様、長寿命化などメリットを有しながら、かつ、シリコン窒化膜に対して高い選択比でシリコン酸化膜エッチングできる薬液

# 事業紹介 ~半導体~

## 半導体用高純度フッ化水素酸の生産能力

北九州工場



(福岡県北九州市)

**30,000 t / 年産**

三宝工場



(大阪府堺市)

**65,000 t / 年産**

STELLA CHEMIFA  
SINGAPORE



(シンガポール)

**10,000 t / 年産**

**105,000 t / 年産**

フッ素化合物の総合メーカーとして、  
製造から充填まですべて自社技術で行っています。

# 事業紹介 ~エネルギー~



濃縮プラント  
(大阪府泉大津市)

## 濃縮ホウ素（ボロン10）とその特徴

- 天然ホウ素（ボロン）はボロン10(20%)・ボロン11(80%)が同位体として存在
- ボロン10を99%以上に濃縮する技術を開発
- 濃縮ホウ素の大量生産技術を国内で初めて確立(2000年)
- ボロン10は、中性子吸収能力が極めて高い性質があり、濃度を高めることでさらにその吸収能力が向上する

## 生産能力

品目		生産能力
濃縮ホウ素	$^{10}\text{B}$	6 t / 年産

(※次の品目に換算した場合)

濃縮ホウ酸	$\text{H}_3^{10}\text{BO}_3$	36 t / 年産
-------	------------------------------	-----------

# 事業紹介 ～エネルギー～

## 濃縮ホウ素化合物の用途

- 一次冷却水に溶かし込んで、加圧水型原子炉の余剰反応度制御
- 使用済み核燃料の輸送・貯蔵容器の中性子吸収材
- 原子炉の制御棒の材料や、使用済み核燃料プールのラック材
- 特定重大事故等対処設備の水源
- がん治療薬剤の原料（BNCT：ホウ素中性子捕捉療法）

## 濃縮ホウ酸の利用メリット

### ① 原子炉内の腐食環境の改善

天然品と比較して、1/5で必要<sup>10</sup>B濃度が確保できる。  
低濃度での運転が可能となり、設備での腐食が低減できる。

### ② ホウ酸水の維持保管コスト低減

ホウ酸水の溶解維持のため加熱・保温が必要。  
濃縮ホウ酸であれば濃度を下げることが可能であり、保温問題が低減される。  
また、貯蔵タンクも小さくできる。

### ③ より確実に

緊急停止時にはより確実な制御が可能であり、また、ホウ酸は人体や環境に有害であるため、全体のホウ酸量を低減できることはメリットである。

# 事業紹介 ～一般製品～

## フッ化スズ

- F D AによるO T C虫歯予防薬の原薬である『フッ化スズ』のG M P査察が完了し、正式な公認を取得済み。
- G M P対応製品として欧米を中心に『フッ化スズ』を販売。



泉工場製造棟 (大阪府泉大津市)



※歯の健康や美観への関心が強い欧米向けを中心に、  
需要を見込んでいます。

⇒ 歯磨き用以外の新たな用途も開拓中 (例：蹄殺菌)

# 事業紹介 ～新たな取り組み～

- 現在取り組んでいる主なテーマについて  
※赤字部分について次ページより詳細記載

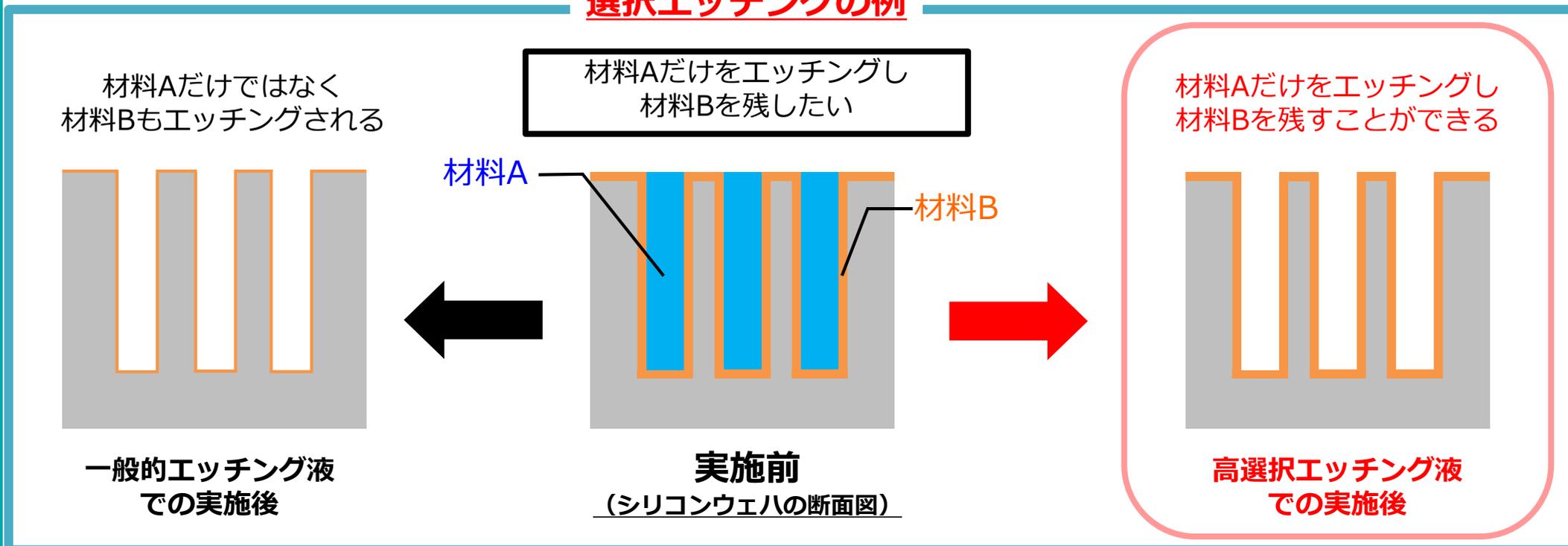
分野	テーマ
半導体	<ul style="list-style-type: none"><li>● 半導体デバイスの微細化に対応する薬液の改良</li><li>● 半導体製造工程の改善に繋がるエッチング液の開発</li><li>● <b>半導体製造に使用する選択エッチング液の改良</b></li></ul>
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>全固体電池用材料の開発</b></li><li>● リチウムイオン二次電池用添加剤の改良</li></ul>
無機フッ素化合物の新用途	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>細胞培養容器の開発</b></li><li>● 次世代ディスプレイ用蛍光体材料の開発</li><li>● 屈折率調製用ナノフィラーの開発</li></ul>

# 事業紹介 ～新たな取り組み（半導体）～

## 半導体製造に使用する選択エッチング液の改良

- 選択エッチング液とは、『様々な種類の材料を選択的にエッチングすることが可能』な薬液のこと
- 選択性が優れたエッチング技術は、精密な加工を可能にし、半導体の性能向上に寄与する
- 高い選択エッチング機能をもった当社開発品「HSN BHF」を上回る新しい薬液を見出し開発中

### 選択エッチングの例



より高い選択性を実現する薬液の開発・製品化に向けた各種評価を実施中

# 事業紹介 ～新たな取り組み（エネルギー）～

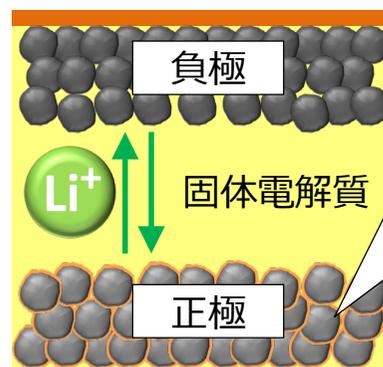
## 全固体電池用材料の開発

- 全固体電池は電解液を使用しないため、安全性、耐熱性に優れた高性能の次世代電池として注目
- 課題である正極活物質と電解質界面のイオン伝導性を高める正極活物質の被覆剤「SL-51」を開発

開発品の外観  
SL-51



<全固体電池の構造>



被覆剤(SL-51)

<電気自動車のバッテリー>



正極活物質に**SL-51**被覆層を形成することで  
固体-固体間の高い界面抵抗を低減しスムーズな充放電に寄与

- ✓電池の高速充電化の要望に応えうる、**内部抵抗の低減を実現する材料**
- ✓高電圧化の要望に応えうる、**高い耐酸化性を有する優れた材料**

サンプルワーク済のユーザーより  
充放電特性において高い評価を獲得

市場の伸びが予測される全固体電池をターゲットに  
2030年での製品化を目指す

# 事業紹介 ～新たな取り組み（細胞培養容器）～

## 細胞培養容器の開発

- 細胞を培養する容器は再生医療や医薬品開発など幅広い分野で利用される
- 当社開発品は独自の表面処理技術により細胞の培養に適した表面を形成

<当社開発品>



<細胞の培養>



<再生医療・医薬品開発>



## 本格的な販売を見据えた取り組み

- ✓ 適用細胞種の拡大に成功  
(神経細胞に加えて培養が難しい初代細胞2種の培養に成功)
- ✓ 製品ラインナップを拡充 (10種類まで拡充)
- ✓ 研究機関を中心にサンプルワークを実施

2027年度での販売を目指し、  
PR活動（展示会への出展）  
・サンプルワークに注力

# 事業紹介 ~その他製品例~



(製品情報)

## 光学材料関連

- ◆フッ化カルシウム
- ◆フッ化アルミニウム
- ◆フッ化リチウム
- ◆フッ化ストロンチウム
- ◆フッ化バリウム
- ◆フッ化マグネシウム
- ◆フッ化鉛

## 反応触媒関連

- ◆高純度三フッ化ホウ素
- ◆三フッ化ホウ素エチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素メチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素n-ブチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素テトラヒドロフラン
- ◆三フッ化ホウ素フェノール
- ◆三フッ化ホウ素モノエチルアミン
- ◆三フッ化ホウ素ピペリジン
- ◆トリエチルアミン・3HF

## 表面処理関連

- ◆55%フッ化水素酸

## 原子力関連

- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウフッ化カリウム
- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウ酸

## その他製品群

- ◆ケイフッ化カリウム
- ◆ホウフッ化水素酸
- ◆ホウフッ化スズ
- ◆ホウフッ化銅
- ◆ホウフッ化鉛
- ◆ホウフッ化亜鉛
- ◆ホウフッ化ナトリウム
- ◆ホウフッ化カリウム
- ◆酸性フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ナトリウム
- ◆フッ化カリウム
- ◆フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ジルコニウムカリウム
- ◆フッ化チタンカリウム
- ◆精製フッ化カルシウム
- ◆六フッ化リン酸カリウム

## 新規開発品

- ◆薬液ライフタイムの向上に貢献する洗浄剤
- ◆シリコン窒化膜のエッチングを抑えた洗浄剤
- ◆電池関連 (ナトリウムイオン電池用電解質・リチウムイオン二次電池用添加剤・全固体リチウムイオン二次電池用材料)
- ◆各種フッ化物ナノ粒子/分散液 (マグネシウム・CNP-P・イッテルビウム・リチウム・カルシウム)
- ◆蛍光体材料関連
- ◆バイオ関連
- ◆5G・6G (移動通信システム)、プリント基板関連
- ◆特殊用途無機フッ素化合物
- ◆フッ素化カーボンナノチューブ
- ◆帯電防止剤
- ◆原子力関連

# 事業紹介 ～運輸事業～

## ブルーエクスプレス株式会社

(HP URL)



### 運輸事業

輸送業	陸上輸送・海上輸送・鉄道輸送
通関業	輸出入の通関手続き・輸出入貨物の出荷引取り業務
倉庫業	最新システムを満載した〔複合機能倉庫〕を提供
コンテナサービス	ISO仕様の大型圧力容器、IBCサイズの中型圧力容器、UN仕様 IBCコンテナ等を提供するほか、それらの洗浄、整備およびリース等

通関拠点	輸送拠点	海外拠点
本社事務所	仙台営業所	シンガポール
大阪事務所	関東営業所	中国
横浜事務所	横浜営業所	
	清水営業所	
	名古屋営業所	
	本社営業所	
	神戸営業所	
	北九州営業所	



# 事業紹介 ～運輸事業～

## 保有車両 (2024年4月現在)

- トラクター (142輛)
- トレーラ (352輛)
  - 20Fシャーシ
  - 35Fシャーシ
  - 40Fシャーシ
  - コンテナ専用シャーシ
  - ウィングセミトレーラ
- タンクトレーラ (10輛)
  - タンクトレーラ
  - ガスタンクトレーラ
- ウィング車 (6輛)
- 温調車 (4輛)
- 平ボディー車 (13輛)
- コンテナ専用車 (16輛)
- タンクローリー (16輛)
  - 専用ローリー
  - ガスローリー
- タンクコンテナ (554輛)
  - ISO【テフロンライニング】
  - ISO【保温】
  - JRコンテナ【テフロンライニング】
- ポータブルタンク (24輛)

## 車両タイプ一覧



# 事業紹介 ～運輸事業～

## 企業価値向上に向けた取組み

### 1.収益性を重視した取組みを推進

- 廉価取引を見直し：コストに見合った料金改定や、取引そのものの見直しを進める
- 新規案件の獲得：引き合いへの積極対応、既存荷主への深耕、他部署との連携等による

### 2. 安定的事業基盤の構築

- 年齢構成を見ながら将来を見据えて採用し、管理者・幹部社員を計画的に育成
- 外部研修を活用しての技術習得や、資格取得を推進
- ニーズに合わせて、タイプ別の車両・容器を確保

### 3. コンプライアンス体制の継続強化

- ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの活用や運行管理業務の見直し等により、危険運転や過重労働の防止を徹底
- 社員教育の充実、関連法規の理解の促進等
- 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（2024年4月改正）」に準ずる社内体制の整備

## <免責事項>

本資料に掲載されている業績見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。

本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであります。投資に関するご判断はご自身での責任で行われますようお願い申し上げます。